

発電設備等系統アクセス業務に係る情報の取りまとめ
(2020年度の受付・回答分)

2021年6月



電力広域的運営推進機関
Organization for Cross-regional Coordination of
Transmission Operators, JAPAN

- はじめに -

電力広域的運営推進機関（以下、広域機関という。）は、業務規程第181条の規定に基づき、系統アクセス業務に関する前年度までの実績について公表している。

今回、2020年度（2020年4月～2021年3月）の系統アクセス業務に関する実績（受付及び回答状況）を取りまとめたので、公表する。

本資料は2020年度の受付及び回答状況の取りまとめであることから、引用する業務規程及び送配電等業務指針（以下、規定等という。）の条文は、同年度末日時点で適用される規定等を用いる記載としている。また、本資料が用いる電気事業者の類型は、2020年度末日時点で施行されている電気事業法（昭和三十九年七月十一日法律第七十号）に規定される定義を用いる記載としている。

なお、本資料の取りまとめについては、前年度公表資料（2019年度受付及び回答状況の取りまとめ）から以下のとおり記載内容を変更している。

- ① 2021年1月13日から全国の空き容量の無い基幹系統に対してノンファーム型接続の適用が開始されたことを踏まえ、接続検討（回答件数）、契約申込み（受付・回答件数）にノンファーム型接続適用状況を追加した。なお、東京エリアについては東京電力パワーグリッド(株)の試行的な取り組みとしてノンファーム型接続を先行適用している。（新京葉線、新佐原線は、2019年9月17日に適用開始。鹿島系統は2020年1月24日に適用開始。）
- ② これまでの集計では、接続検討（回答件数）、契約申込み（回答件数）の超過状況を、全国計の数値で集計していたが、国の審議会（※）での審議を踏まえ、各一般送配電事業者毎の記載に変更した。

※ 第29回 総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会 新エネルギー小委員会/電力・ガス事業分科会電力・ガス基本政策小委員会 系統ワーキンググループ（2021年2月25日）

- 目次 -

1. 対象電源	3
2. 集計結果	4
2.1 事前相談	4
2.1.1 受付件数	4
2.2 接続検討	5
2.2.1 受付件数	5
2.2.2 電源種別毎の受付件数	6
2.2.3 回答件数	7
2.2.4 検討期間	8
2.2.5 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況	10
2.3 契約申込み	11
2.3.1 受付件数	11
2.3.2 電源種別毎の受付件数	12
2.3.3 回答件数	13
2.3.4 検討期間	14
2.3.5 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況	16
<参考>年度推移	17
(1) 事前相談	17
(2) 接続検討	18
(3) 契約申込み	18

1. 対象電源

2015年4月1日以降に広域機関及び一般送配電事業者において系統アクセス業務に係る受付または回答を行った最大受電電力500キロワット以上の発電設備等の案件を対象とする。なお、発電容量の増加を伴わない改修等も含む。

ただし、調査期限末日時点（2021年3月31日）において回答予定日を超過して継続検討中（未回答）である接続検討の案件の総数に限り、2015年3月以前に受付を行った案件も含め集計している。

また、本資料において、各事業者名称は下記の略称で記載する。

事業者名称	本資料における略称
北海道電力ネットワーク株式会社	北海道NW
東北電力ネットワーク株式会社	東北NW
東京電力パワーグリッド株式会社	東京PG
中部電力パワーグリッド株式会社	中部PG
北陸電力送配電株式会社	北陸送配
関西電力送配電株式会社	関西送配
中国電力ネットワーク株式会社	中国NW
四国電力送配電株式会社	四国送配
九州電力送配電株式会社	九州送配
沖縄電力株式会社	沖縄電力

2. 集計結果

2.1. 事前相談

2.1.1. 受付件数

2020年度（2020年4月～2021年3月）に受付を行った事前相談の件数は以下のとおり。

全国の事前相談受付件数は前年度と比較すると減少しているが、1月から増加傾向がみられる。

表1 事前相談の受付件数(広域機関および一般送配電事業者別) (件)

受付会社	前年度（2019年度）			当年度（2020年度）			増減
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
広域機関※1	41	—※1	41	27	—※1	27	▲ 14
北海道NW	85	152	237	142	425	567	330
東北PG	283	1,219	1,502	293	888	1,181	▲ 321
東京PG	167	1,020	1,187	190	874	1,064	▲ 123
中部PG	239	1,601	1,840	113	1,706	1,819	▲ 21
北陸送配	85	177	262	45	169	214	▲ 48
関西送配	263	1,865	2,128	146	1,296	1,442	▲ 686
中国NW	419	1,101	1,520	143	752	895	▲ 625
四国送配	51	206	257	30	296	326	69
九州送配	506	2,978	3,484	190	1,600	1,790	▲ 1,694
沖縄電力	6	15	21	1	43	44	23
合計	2,145	10,334	12,479	1,320	8,049	9,369	▲ 3,110

※1 広域機関は出力の合計値が1万キロワット以上の発電設備のみを受け付けており、電圧階級は特別高圧のみである。

※2 同一事業者が同一発電場所において異なった容量の申込みを複数行っている場合もそれぞれ計上している。

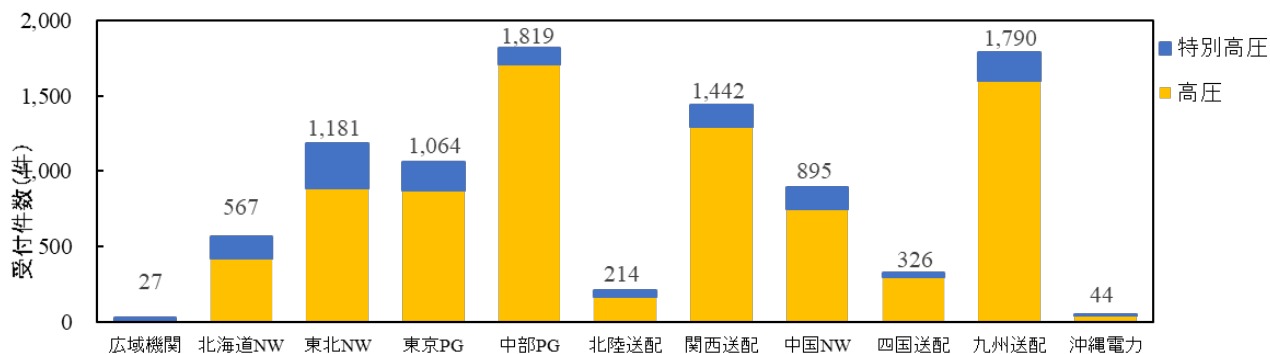


図1 事前相談の受付件数(広域機関および一般送配電事業者別)

[2020年度]

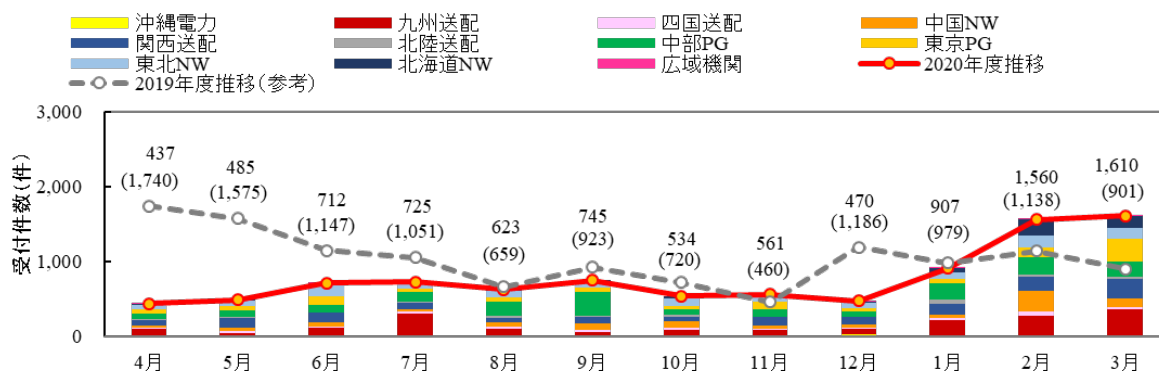


図2 事前相談 受付件数(広域機関+一般送配電事業者合計)

[2020年度]

2.2. 接続検討

2.2.1. 受付件数

2020年度（2020年4月～2021年3月）に受付を行った接続検討の件数は以下のとおり。

全国の接続検討受付件数は前年度と比較すると増加している。特に、東北NWおよび東京PGの受付件数が多く、事前相談受付件数と同様に1月から増加傾向がみられる。

表2 接続検討の受付件数(広域機関および一般送配電事業者別) (件)

受付会社	前年度（2019年度）			当年度（2020年度）			増減
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
広域機関※1	83	0	83	74	2	76	▲ 7
北海道NW	35	30	65	50	39	89	24
東北NW	245	118	363	297	127	424	61
東京PG	87	200	287	89	354	443	156
中部PG	57	106	163	51	179	230	67
北陸送配	57	22	79	29	26	55	▲ 24
関西送配	43	48	91	58	79	137	46
中国NW	51	40	91	48	58	106	15
四国送配	24	18	42	8	21	29	▲ 13
九州送配	78	60	138	67	106	173	35
沖縄電力	1	4	5	1	5	6	1
合計	761	646	1,407	772	996	1,768	361

※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が1万キロワット以上である申込みを受け付ける。

※2 同一事業者が同一発電場所において異なった容量の申込みを複数行っている場合もそれぞれ計上している。

※3 電源接続案件募集プロセスの募集要綱に基づく接続検討の申込みについては集計外としている。

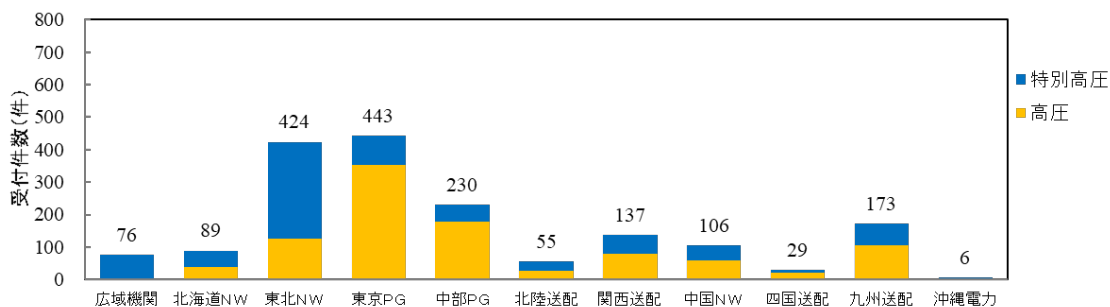


図3 接続検討 受付件数(広域機関及び一般送配電事業者別)

[2020年度]

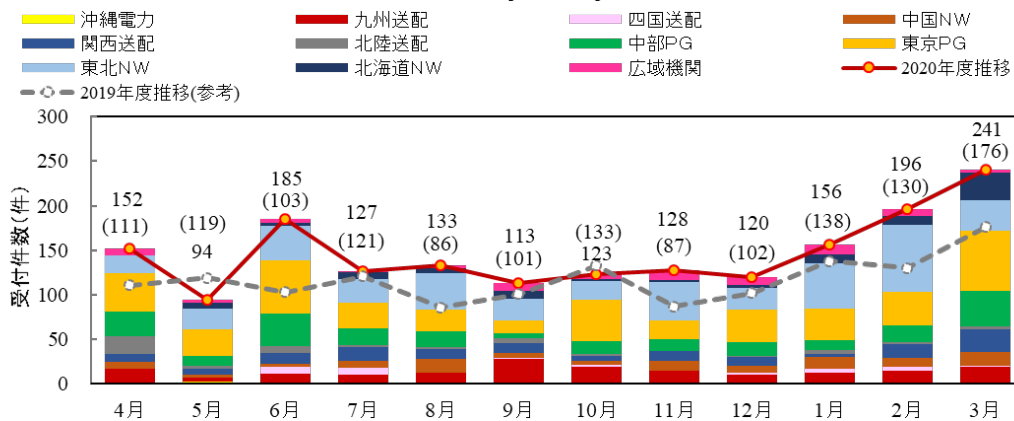


図4 接続検討 受付件数(広域機関+一般送配電事業者合計)

2.2.2. 電源種別毎の受付件数

2020年度（2020年4月～2021年3月）に受付を行った接続検討の電源種別ごとの件数は以下のとおり。なお、広域機関にて受け付けた案件については、系統連系を希望する各エリアに計上している。

受付件数の多い東北エリアでは風力比率が高く、東京エリアでは太陽光比率が高くなっている。また、昨年度と比較すると太陽光の受付件数が増加している。

※1 接続検討1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、接続検討の受付件数の合計値とは一致しない場合がある。

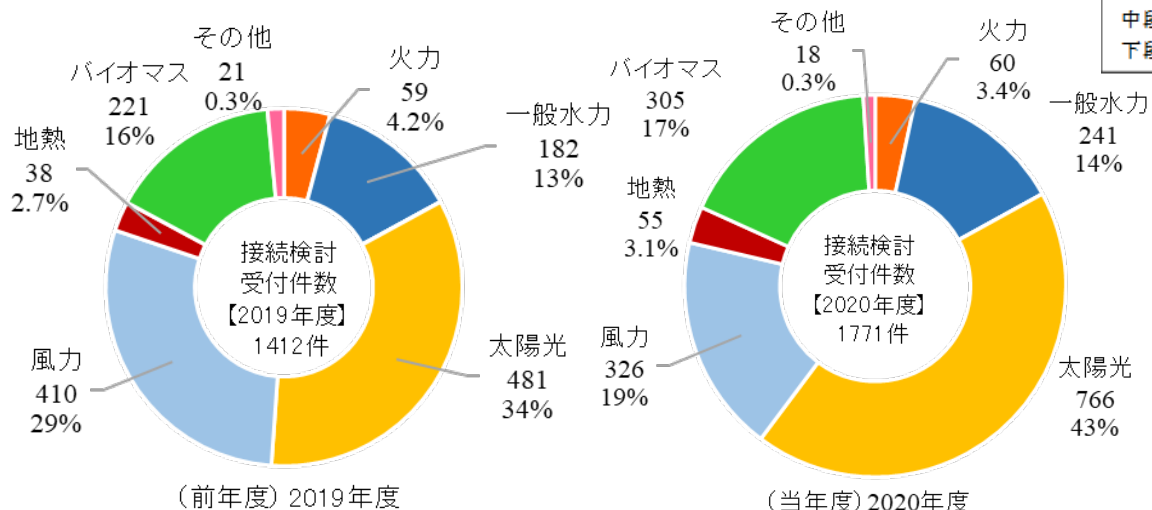
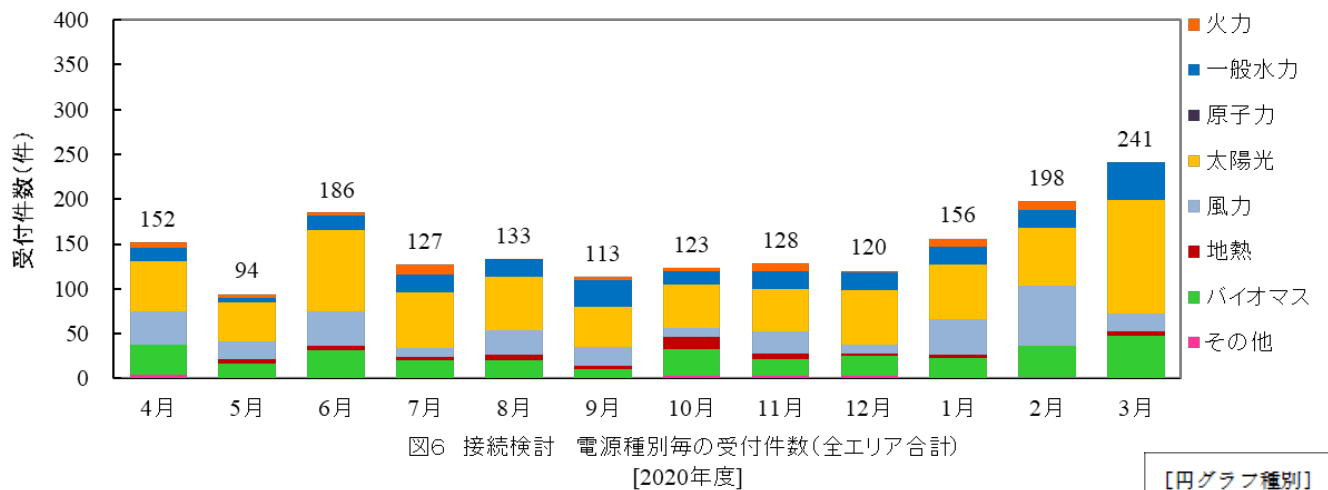
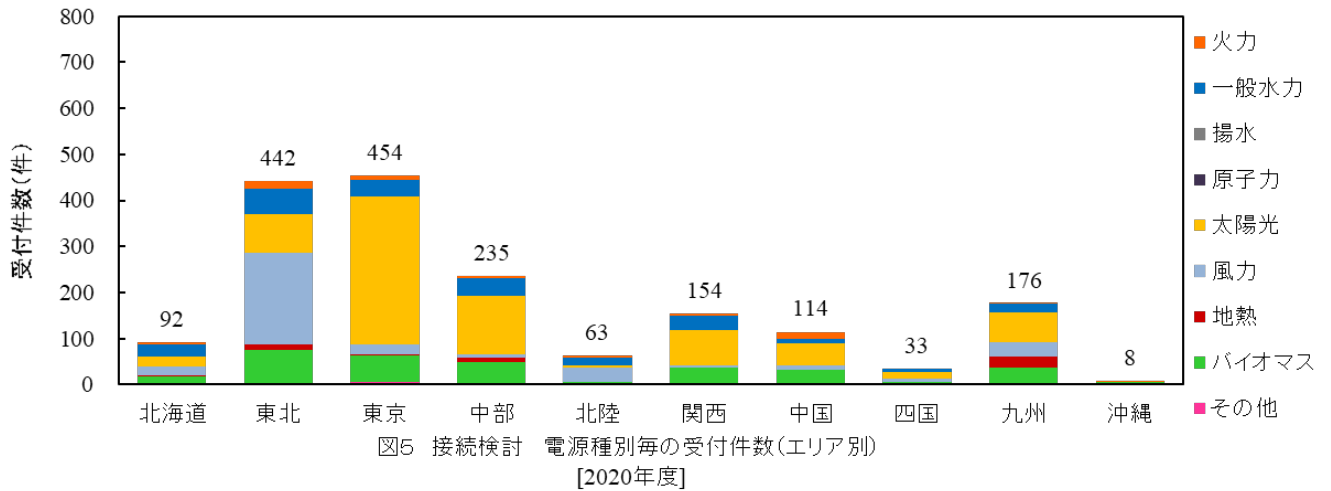


図7 接続検討の電源種別毎の受付件数割合 (全エリア合計)

2.2.3. 回答件数

2020年度（2020年4月～2021年3月）に回答を行った接続検討の回答件数は以下のとおり。
 全国の接続検討回答件数は前年度と比較すると増加している。
 ノンファーム型接続の回答件数は、試行的な取り組みで先行している東京PGが多い。

表3 接続検討の回答件数(広域機関および一般送配電事業者別)

(件)

受付会社	前年度（2019年度）			当年度（2020年度）						増減
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
広域機関※1	70	0	70	81	(1)	0	(-)	81	(1)	11
北海道NW	21	63	84	29	(-)	19	(-)	48	(-)	▲ 36
東北NW	211	139	350	273	(3)	113	(1)	386	(4)	36
東京PG	86	163	249	65	(26)	247	(126)	312	(152)	63
中部PG	48	104	152	57	(-)	153	(-)	210	(-)	58
北陸送配	49	18	67	53	(-)	27	(-)	80	(-)	13
関西送配	41	51	92	45	(-)	57	(-)	102	(-)	10
中国NW	44	48	92	44	(-)	47	(-)	91	(-)	▲ 1
四国送配	24	23	47	16	(-)	16	(-)	32	(-)	▲ 15
九州送配	57	74	131	55	(10)	85	(2)	140	(12)	9
沖縄電力	0	4	4	1	(-)	7	(-)	8	(-)	4
合計	651	687	1,338	719	(40)	771	(129)	1,490	(169)	152

- ※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が1万キロワット以上である申込みを受け付ける。
- ※2 同一事業者が同一発電場所において異なった容量の申込みを複数行っている場合もそれぞれ計上している。
- ※3 電源接続案件募集プロセスの募集要綱に基づく接続検討の申込みについては集計外としている。
- ※4 ()内はノンファーム型接続回答を再掲

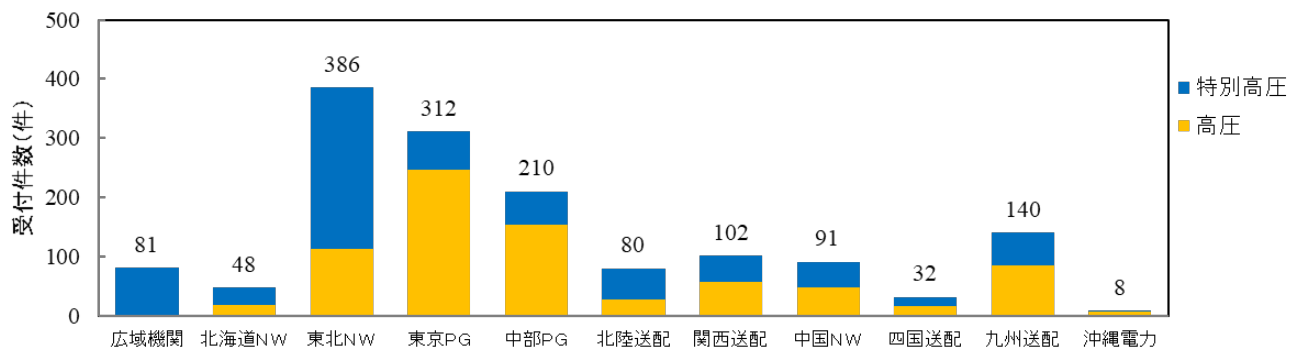


図8 接続検討 回答件数(広域機関および一般送配電事業者別) [2020年度]

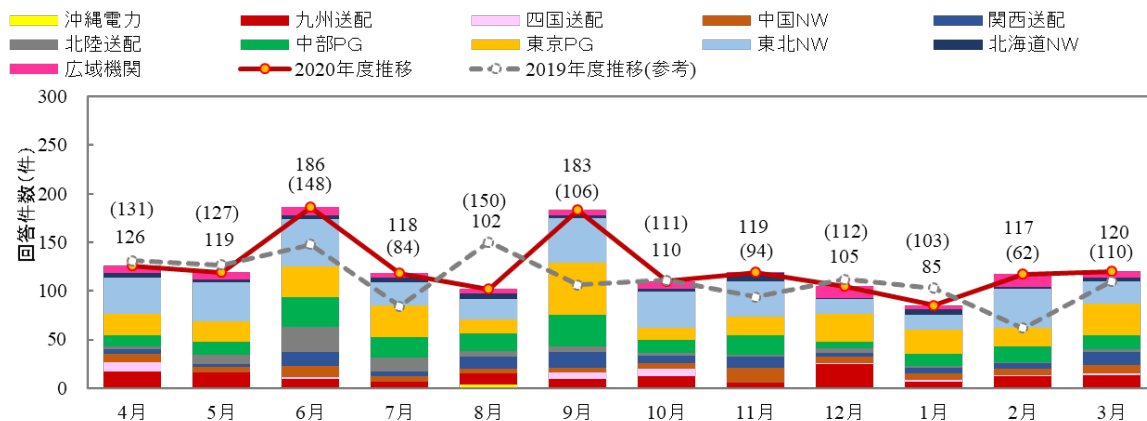


図9 接続検討 回答件数(広域機関+一般送配電事業者) [2020年度]

2.2.4. 検討期間

2020年度（2020年4月～2021年3月）に回答を行った接続検討の回答期間は以下のとおり。なお、検討期間は、送配電等業務指針第86条の規定を踏まえ、3ヶ月を標準期間として確認した。

検討期間3ヶ月を超過している件数は全体の25%程度であり、超過理由の主な理由は受付者都合だがその詳細は申込集中・特殊検討・検討量大が多い。

表4 接続検討の検討期間(広域機関および一般送配電事業者別)

(件)

	回答 件数	3ヶ月 以内	3ヶ月 超過	超過理由								
				A	B	C	D	E	F	G	H	I
広域機関※1	81	40	41	0	3	6	29	2	0	0	0	1
北海道NW	48	30	18	0	0	14	1	2	1	0	0	0
東北NW	386	244	142	3	10	56	52	0	3	10	0	8
東京PG	312	262	50	1	3	5	34	7	0	0	0	0
中部PG	210	194	16	1	1	0	9	0	3	1	0	1
北陸送配	80	54	26	1	0	0	12	0	0	0	0	13
関西送配	102	97	5	0	3	0	1	0	1	0	0	0
中国NW	91	88	3	0	1	0	2	0	0	0	0	0
四国送配	32	31	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
九州送配	140	79	61	1	8	19	14	3	0	0	0	16
沖縄電力	8	6	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	1,490	1,125	365	7	29	100	154	16	8	11	0	40

※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が1万キロワット以上である申込みを受け付ける。

(接続検討の回答期間)

第86条 一般送配電事業者は、次の各号の区分に応じ、接続検討の回答を、原則として、次の各号に掲げる期間内に行うものとする。

- 一 系統連系希望者が高圧の送電系統への発電設備等（但し、逆変換装置を使用し、容量が500キロワット未満のものに限る。）の連系等を希望する場合 接続検討の申込みの受付日から2か月
- 二 前号に該当しない場合 接続検討の申込みの受付日から3か月

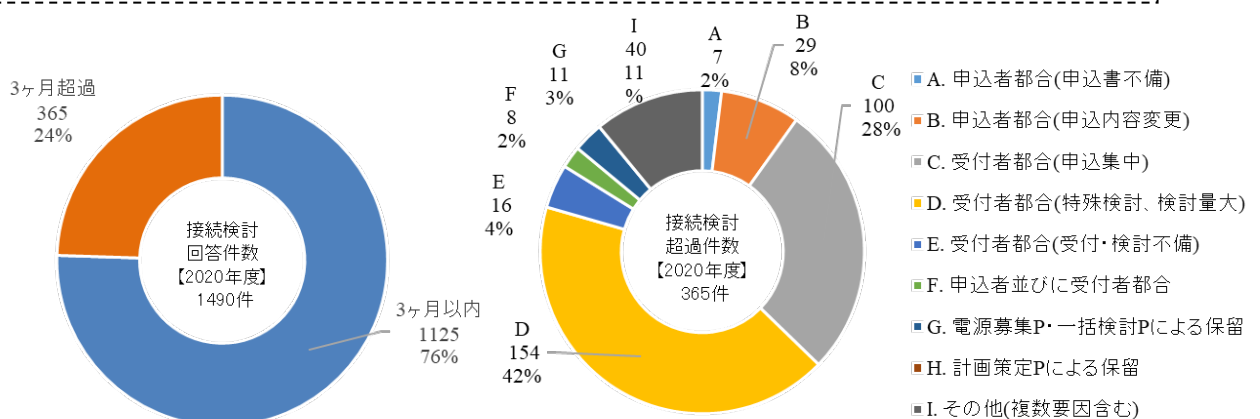


図10 接続検討の回答件数および検討期間実績 (広域機関と一般送配電事業者の合計) [2020年度]

図11 接続検討の回答予定日超過理由 (広域機関と一般送配電事業者の合計) [2020年度]

[円グラフ種別]
上段：検討期間
中段：件数
下段：割合 (%)

[円グラフ種別]
上段：超過理由
中段：件数
下段：割合 (%)

回答期間超過理由の分類については、以下のとおり。

A. 申込者都合（申込書不備）

申込者の書類不備・不足など申込者に起因する場合

B. 申込者都合（申込内容変更）

申込者による申込後の内容変更など申込者に起因する場合

C. 受付者都合（申込集中）

同一地点や同一時期に申込が集中したなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討が輻輳し、検討に時間を要した場合

D. 受付者都合（特殊検討，検討量大）

特殊検討^{※1}が必要となるなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討量が多く、検討に時間を要した場合

E. 受付者都合（受付・検討不備）

一般送配電事業者の受付や検討に不備があった場合

F. 申込者並びに受付者都合

上記の申込者都合と受付者都合の両方に起因する場合

G. 電源接続案件募集プロセス・電源接続案件一括検討プロセス

電源接続案件募集プロセス^{※2}および電源接続案件一括検討プロセス^{※2}の募集締切後、系統状況が確定するまで回答保留している場合

H. 計画策定Pによる保留

計画策定プロセス^{※3}の開始に伴い系統状況が確定するまで回答保留している場合

I. その他（複数要因含む）

上記以外の理由によるもの

※1 特殊検討例は、以下の通り

- ・合理的な設備形成の検討に時間を要しているため
（事業者提案にあたり複数案の工事が考えられる場合などにその決定までに時間を要す）
- ・上位系統増強工事が発生することで検討量が増加したため
- ・近隣で既に複数の先行事業者が連系しており、最適な配電線ルート選定に時間を要したため
- ・当該案件とは別の設備増強工事等が絡み、工事内容について多様な検討（精査）が必要となったため
- ・検討途中での大規模電源の連系申込みに伴い、対策内容の再検討が必要となったため

※2 近隣の電源接続の可能性を募り、複数の電気供給事業者により工事費負担金を共同負担して系統増強を行う手続きのこと

※3 広域系統整備計画の策定において必要となる手続きのこと

2.2.5. 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況

2020年度第（2021年3月末）時点において回答予定日を超過し、かつ検討継続中（未回答）である件数は以下のとおり。なお、ここでは2015年3月以前に受付を行った接続検討の案件を含め調査した。

表5 接続検討の回答予定日超過件数^{※1}（検討継続中^{※2}）

（広域機関および一般送配電事業者の合計） (件)

受付会社	2019年度末時点	2020年度末時点	増減
広域機関	12	1	▲ 11
北海道NW	31	35	4
東北NW	28	5	▲ 23
東京PG	28	91	63
中部PG	11	0	▲ 11
北陸送配	11	6	▲ 5
関西送配	3	3	0
中国NW	0	0	0
四国送配	0	0	0
九州送配	31	27	▲ 4
沖縄電力	0	0	0
合計	155	168	13

※1 電源接続案件募集プロセスの募集要綱に基づく接続検討の申込みについては集計外としている。

※2 検討継続中案件：2015年3月以前受付及び2015年4月以降受付の案件のうち、調査時点で未回答となっている案件のこと

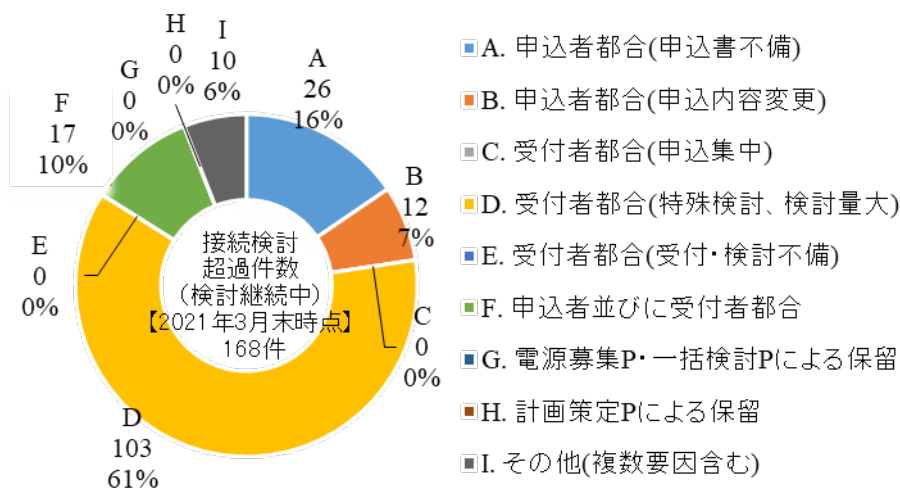


図12 接続検討 回答予定日超過理由(検討継続中)
（広域機関＋一般送配電事業者合計）
【2021年3月末時点】

〔円グラフ種別〕
上段：超過理由
中段：件数
下段：割合(%)

2.3. 契約申込み

2.3.1. 受付件数

2020年度（2020年4月～2021年3月）に受付を行った契約申込みの件数は以下のとおり。

全国の契約申込み受付件数は前年度と比較すると増加しており、特に東北NWの受付件数が多い。

なお、2020年度末時点で、ノンファーム型接続で契約申込みを受付しているのは、試行的な取り組みで先行している東京PGのみである。

表6 契約申込みの受付件数(一般送配電事業者合計)

(件)

受付会社	前年度（2019年度）			当年度（2020年度）						増減
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
北海道NW	8	17	25	11	(-)	14	(-)	25	(-)	0
東北NW	153	79	232	228	(-)	104	(-)	332	(-)	100
東京PG	28	146	174	14	(4)	160	(90)	174	(94)	0
中部PG	29	65	94	26	(-)	70	(-)	96	(-)	2
北陸送配	18	8	26	22	(-)	11	(-)	33	(-)	7
関西送配	37	20	57	36	(-)	34	(-)	70	(-)	13
中国NW	22	23	45	13	(-)	24	(-)	37	(-)	▲ 8
四国送配	10	10	20	3	(-)	12	(-)	15	(-)	▲ 5
九州送配	49	61	110	26	(-)	43	(-)	69	(-)	▲ 41
沖縄電力	2	0	2	0	(-)	3	(-)	3	(-)	1
合計	356	429	785	379	(4)	475	(90)	854	(94)	69

※ ()内はノンファーム型接続回答を再掲

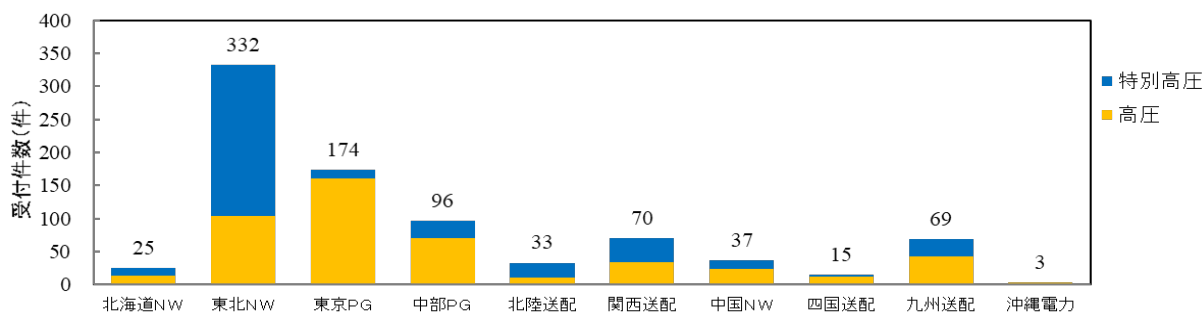


図13 契約申込み 受付件数(一般送配電事業者別) [2020年度]

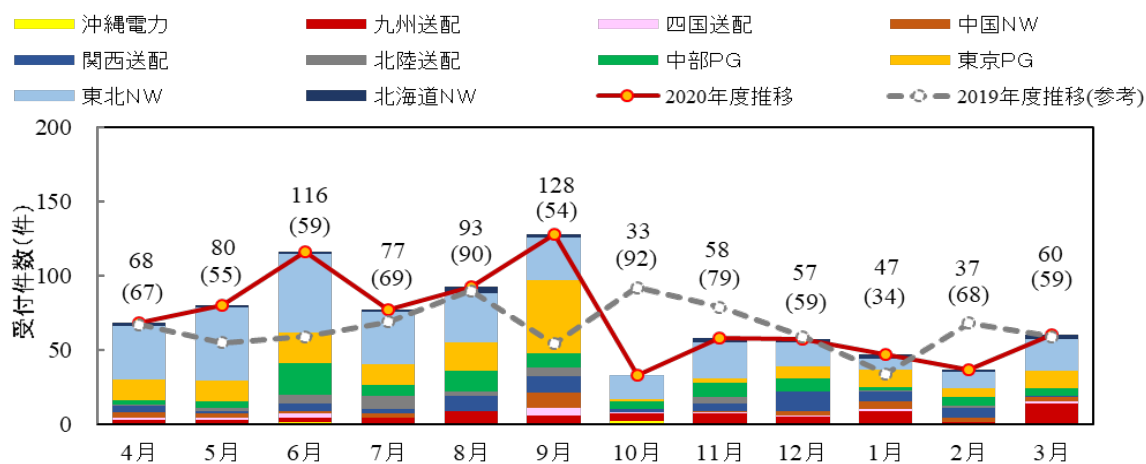


図14 契約申込み 受付件数(一般送配電事業者合計) [2020年度]

2.3.2. 電源種別毎の受付件数

2020年度（2020年4月～2021年3月）に受付を行った契約申込みの電源種別の件数は以下のとおり。

電源種別毎の受付件数比率は前年度と同様に太陽光が高く半数を占めている。

※契約申込み1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、契約申込みの受付件数の合計値とは一致しない場合がある。

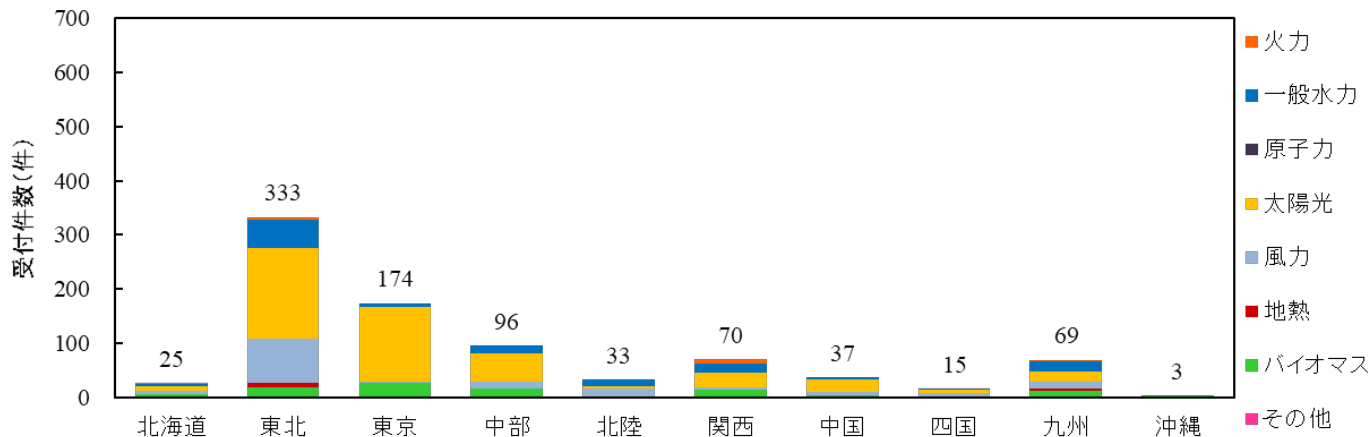


図15 契約申込み 電源種別毎の受付件数(エリア別) [2020年度]

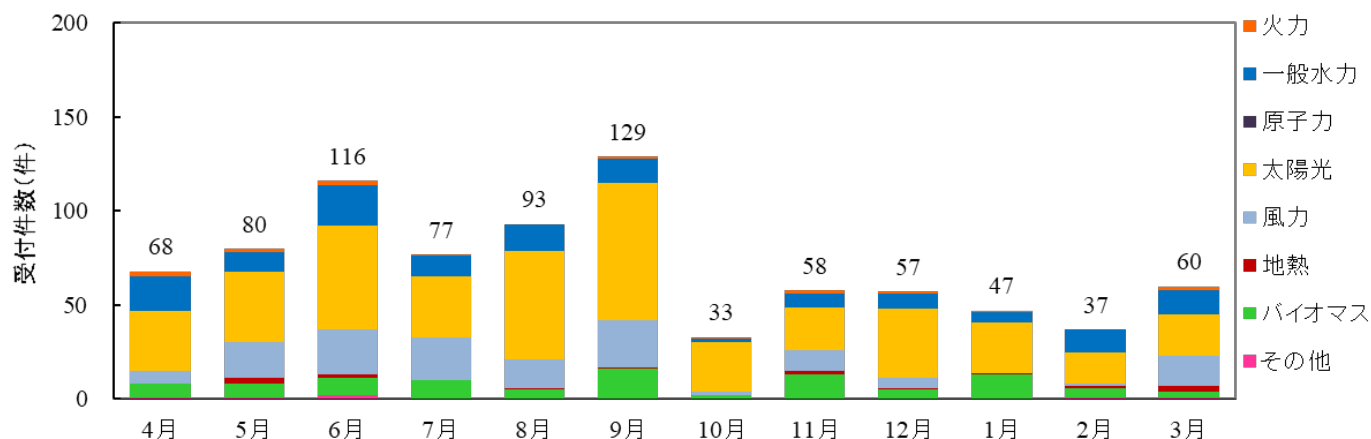


図16 契約申込み 電源種別毎の受付件数(全エリア合計) [2020年度]

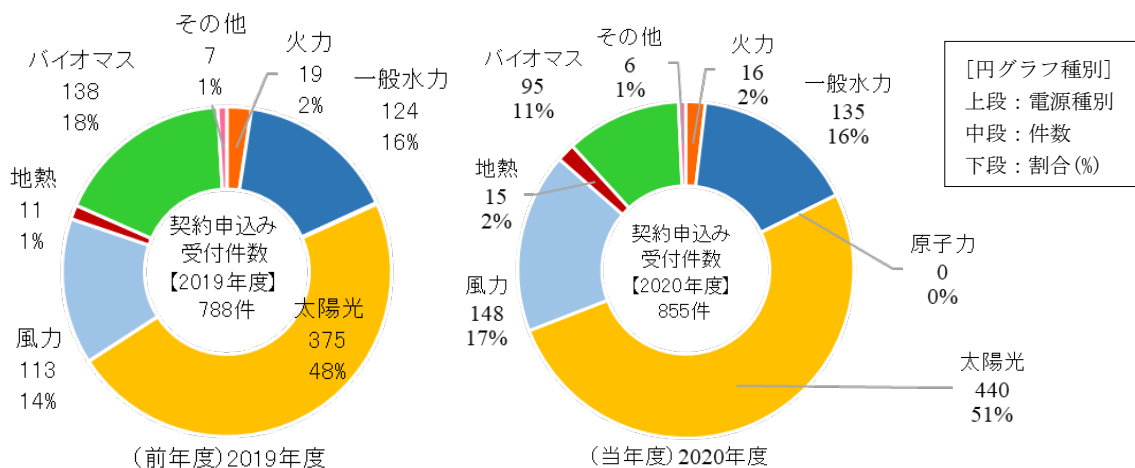


図17 契約申込みの電源種別毎の受付件数割合 (全エリア合計)

2.3.3. 回答件数

2020年度（2020年4月～2021年3月）に回答を行った契約申込みの件数は以下のとおり。

全国の接続検討回答件数は前年度と比較すると減少している。

なお、2020年度末時点で、ノンファーム型接続で契約申込みを回答しているのは、試行的な取り組みで先行している東京PGのみである。

表7 契約申込みの回答件数(一般送配電事業者合計)

(件)

受付会社	前年度（2019年度）			当年度（2020年度）						増減
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
北海道NW	9	37	46	7	(-)	13	(-)	20	(-)	▲ 26
東北NW	131	96	227	207	(-)	83	(-)	290	(-)	63
東京PG	2	181	183	18	(5)	99	(44)	117	(49)	▲ 66
中部PG	25	106	131	29	(-)	66	(-)	95	(-)	▲ 36
北陸送配	6	9	15	25	(-)	8	(-)	33	(-)	18
関西送配	38	32	70	36	(-)	35	(-)	71	(-)	1
中国NW	17	41	58	18	(-)	24	(-)	42	(-)	▲ 16
四国送配	13	8	21	5	(-)	11	(-)	16	(-)	▲ 5
九州送配	27	50	77	21	(-)	35	(-)	56	(-)	▲ 21
沖縄電力	2	1	3	1	(-)	3	(-)	4	(-)	1
合計	270	561	831	367	(5)	377	(44)	744	(49)	▲ 87

※ ()内はノンファーム型接続回答を再掲

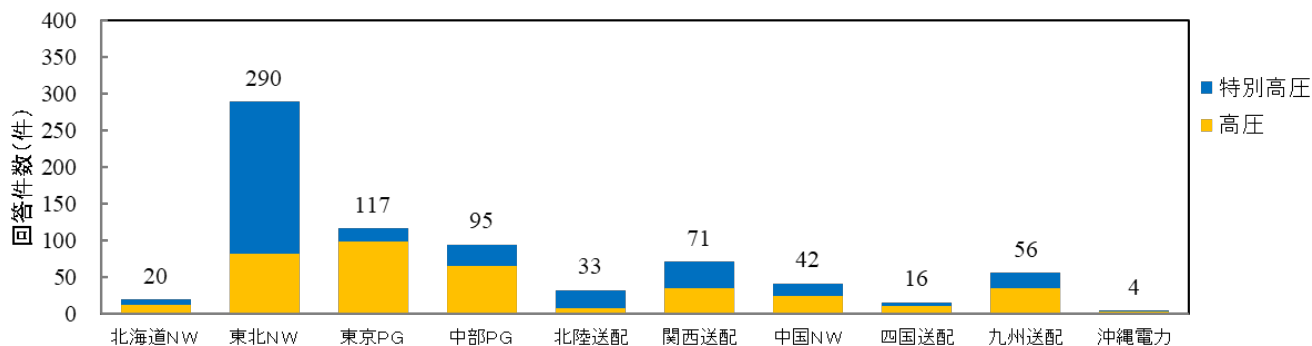


図18 契約申込み 回答件数(一般送配電事業者別)
[2020年度]

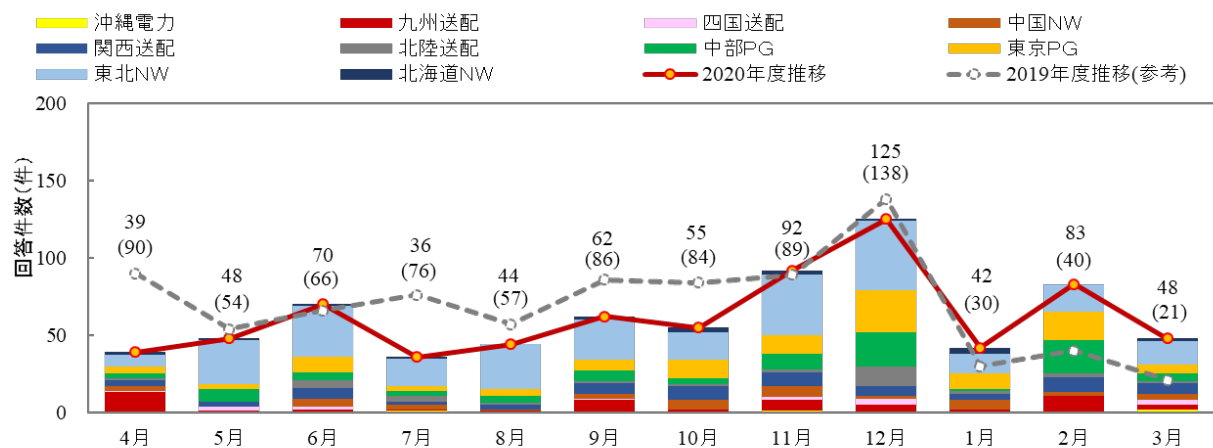


図19 契約申込み 回答件数(一般送配電事業者合計)
[2020年度]

2.3.4. 検討期間

2020年度（2020年4月～2021年3月）に回答を行った接続検討の回答期間は以下のとおり。なお、検討期間については、送配電等業務指針第98条に基づき、6ヶ月を標準検討期間として確認した。

検討期間6ヶ月を超過している件数は全体の10%程度であり、超過の主な理由は申込内容の変更と申込集中が多い。

表8 契約申込みの検討期間(一般送配電事業者別)

(件)

	回答 件数	6ヶ月 以内	6ヶ月 超過	超過理由									
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	
北海道NW	20	10	10	1	2	3	1	0	0	0	0	0	3
東北NW	290	256	34	1	7	16	4	0	3	0	0	0	3
東京PG	117	84	33	5	10	4	8	1	3	0	0	0	2
中部PG	95	92	3	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0
北陸送配	33	26	7	0	0	3	0	0	0	0	0	0	4
関西送配	71	70	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
中国NW	42	39	3	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1
四国送配	16	14	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
九州送配	56	50	6	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0
沖縄電力	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	744	645	99	9	23	26	16	2	7	1	0	0	15

(発電設備等契約申込みの回答期間)

第98条 一般送配電事業者は、次の各号の区分に応じ、発電設備等契約申込みの回答を、原則として、次の各号に掲げる期間内に行うものとする。

- 一 発電設備等系統連系希望者が低圧の送電系統への連系等を希望する場合 発電設備等契約申込みの受付日から1か月
- 二 前号に該当しない場合 発電設備等契約申込みの受付日から6か月又は発電設備等系統連系希望者と合意した期間

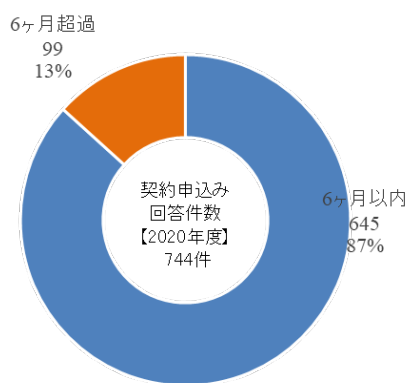


図20 契約申込みの回答件数および検討期間実績 (一般送配電事業者合計) [2020年度]

[円グラフ種別]
上段: 検討期間
中段: 件数
下段: 割合(%)

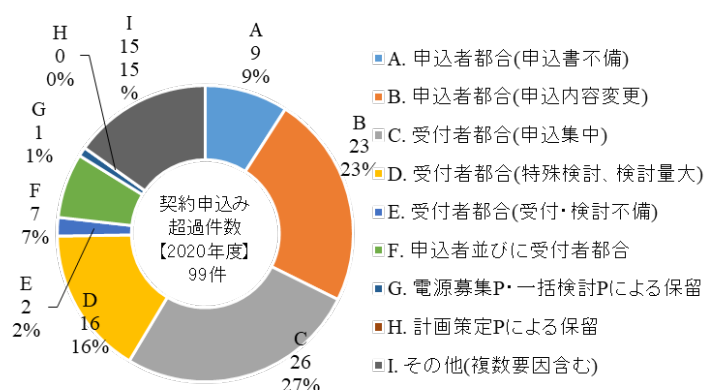


図21 契約申込みの回答予定日超過理由 (一般送配電事業者合計) [2020年度]

[円グラフ種別]
上段: 超過理由
中段: 件数
下段: 割合(%)

回答期間超過理由の分類については、以下のとおり。

A. 申込者都合（申込書不備）

申込者の書類不備・不足など申込者に起因する場合

B. 申込者都合（申込内容変更）

申込者による申込後の内容変更など申込者に起因する場合

C. 受付者都合（申込集中）

同一地点や同一時期に申込が集中したなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討が輻輳し、検討に時間を要した場合

D. 受付者都合（特殊検討，検討量大）

特殊検討^{※1}が必要となるなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討量が多く、検討に時間を要した場合

E. 受付者都合（受付・検討不備）

一般送配電事業者の受付や検討に不備があった場合

F. 申込者並びに受付者都合

上記の申込者都合と受付者都合の両方に起因する場合

G. 電源接続案件募集プロセス・電源接続案件一括検討プロセス

電源接続案件募集プロセス^{※2}および電源接続案件一括検討プロセス^{※2}の募集締切後、系統状況が確定するまで回答保留している場合

H. 計画策定Pによる保留

計画策定プロセス^{※3}の開始に伴い系統状況が確定するまで回答保留している場合

I. その他（複数要因含む）

上記以外の理由によるもの

※1 特殊検討例は、以下の通り

- ・ 合理的な設備形成の検討に時間を要しているため
（事業者提案にあたり複数案の工事が考えられる場合などにその決定までに時間を要す）
- ・ 上位系統増強工事が発生することで検討量が増加したため
- ・ 近隣で既に複数の先行事業者が連系しており、最適な配電線ルート選定に時間を要したため
- ・ 当該案件とは別の設備増強工事等が絡み、工事内容について多様な検討（精査）が必要となったため
- ・ 検討途中での大規模電源の連系申込みに伴い、対策内容の再検討が必要となったため

※2 近隣の電源接続の可能性を募り、複数の電気供給事業者により工事費負担金を共同負担して系統増強を行う手続きのこと

※3 広域系統整備計画の策定において必要となる手続きのこと

2.3.5. 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況

2020年度末（2021年3月末）時点において回答予定日を超過し、かつ検討継続中（未回答）である件数は以下のとおり。

表9 契約申込みの回答予定日超過件数（検討継続中(未回答)^{※1}）

受付会社	2019年度末	2020年度末	増減
北海道NW	18	17	▲1
東北NW	17	10	▲7
東京PG	39	56	17
中部PG	19	4	▲15
北陸送配	8	6	▲2
関西送配	18	18	0
中国NW	26	26	0
四国送配	0	0	0
九州送配	104	106	2
沖縄電力	0	0	0
合計	249	243	▲6

※1 検討継続中案件：2015年4月以降受付の案件について調査時点で未回答となっている案件。

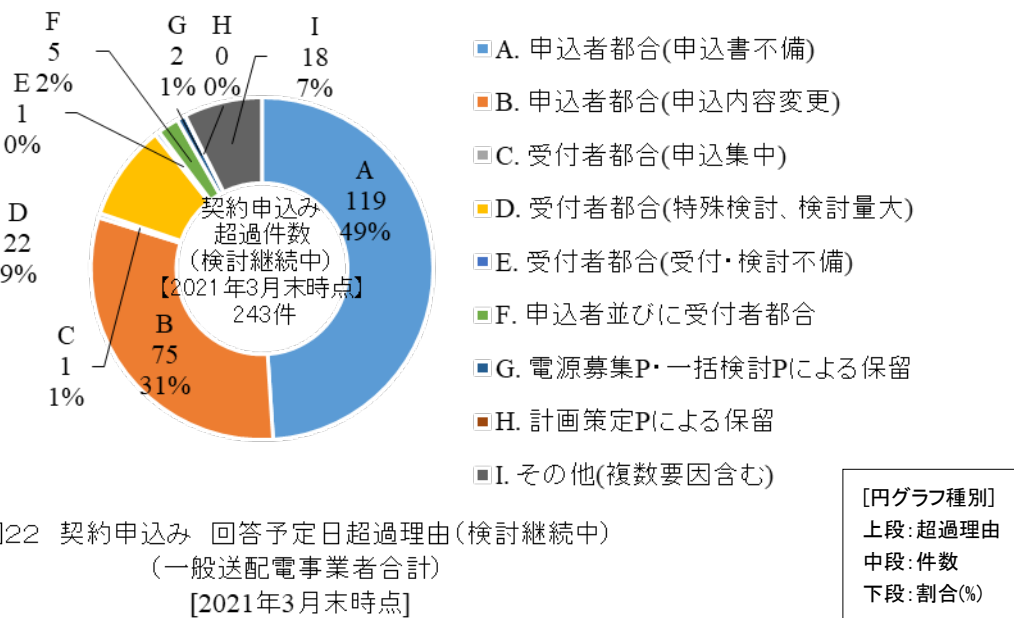


図22 契約申込み 回答予定日超過理由（検討継続中）
（一般送配電事業者合計）
[2021年3月末時点]

<参考> 年度推移

広域機関発足（2015年4月）以降における広域機関並びに一般送配電事業者において実施した系統アクセス業務に関する実績（「事前相談」、「接続検討」、「契約申込み」の受付状況）の推移は以下のとおり。

事前相談の受付件数は2017年度をピークに減少している。接続検討・契約申込みの受付件数は2020年度から増加傾向に変化した。

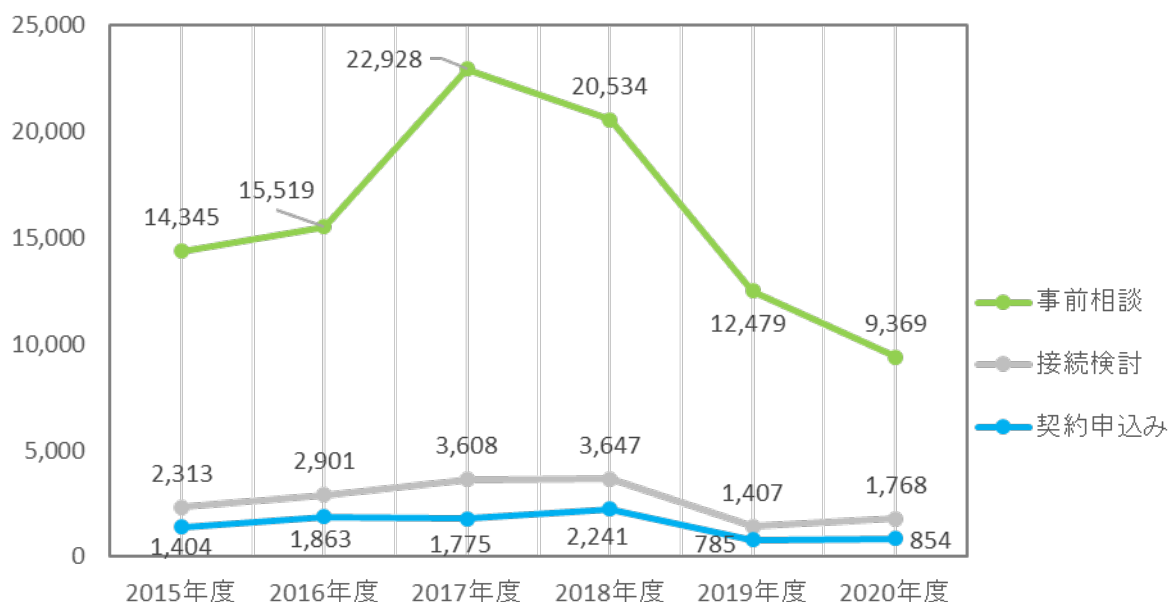


図23 年度別 事前相談・接続検討・契約申込みの受付件数の推移

(1) 事前相談

表 10 事前相談の各社別受付件数の推移

(件)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
広域機関	100	333	111	76	41	27
北海道NW	396	637	1,592	646	237	567
東北NW	2,300	1,705	2,529	2,853	1,502	1,181
東京PG	4,629	3,882	5,396	2,659	1,187	1,064
中部PG	2,059	3,472	4,136	4,110	1,840	1,819
北陸送配	332	425	478	622	262	214
関西送配	1,930	2,076	3,528	4,318	2,128	1,442
中国NW	1,123	1,256	2,744	2,405	1,520	895
四国送配	425	390	546	804	257	326
九州送配	1,038	1,256	1,796	2,003	3,484	1,790
沖縄電力	13	87	72	38	21	44
合計	14,345	15,519	22,928	20,534	12,479	9,369

(2) 接続検討

表 11 接続検討の各社別受付件数の推移

(件)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
広域機関	70	83	53	58	83	76
北海道NW	43	106	323	229	65	89
東北NW	369	415	443	615	363	424
東京PG	638	811	1,085	853	287	443
中部PG	290	453	485	585	163	230
北陸送配	56	102	118	115	79	55
関西送配	262	312	354	328	91	137
中国NW	191	243	315	431	91	106
四国送配	92	134	139	110	42	29
九州送配	300	238	291	315	138	173
沖縄電力	2	4	2	8	5	6
合計	2,313	2,901	3,608	3,647	1,407	1,768

表 12 接続検討の電源種別毎の受付件数の推移

(件)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
火力	118	66	41	25	59	60
一般水力	107	106	132	145	182	241
揚水	0	0	0	0	0	0
原子力	0	0	0	0	0	0
太陽光	1,731	2,005	2,602	2,806	481	766
風力	165	368	340	303	410	326
地熱	16	17	17	14	38	55
バイオマス	175	335	469	341	221	305
その他	6	7	11	13	21	18
合計	2,318	2,904	3,612	3,647	1,412	1,771

※接続検討1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、契約申込みの受付件数の合計値とは一致しない場合がある。

(3) 契約申込み

表 13 契約申込みの各社別受付件数の推移 (件)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
北海道NW	26	37	187	46	25	25
東北NW	217	215	211	329	232	332
東京PG	161	538	277	618	174	174
中部PG	209	357	267	400	94	96
北陸送配	38	83	86	50	26	33
関西送配	190	233	256	251	57	70
中国NW	64	147	196	242	45	37
四国送配	51	71	79	69	20	15
九州送配	447	177	210	232	110	69
沖縄電力	1	5	6	4	2	3
合計	1,404	1,863	1,775	2,241	785	854

表 14 契約申込みの電源種別毎受付件数の推移 (件)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
火力	31	30	26	16	19	16
一般水力	58	70	76	96	124	135
揚水	0	0	2	0	0	0
原子力	0	0	0	1	1	0
太陽光	1,212	1,462	1,252	1,900	375	440
風力	44	168	229	78	113	148
地熱	7	8	5	3	11	15
バイオマス	56	123	187	143	138	95
その他	0	2	3	5	7	6
合計	1,408	1,863	1,780	2,242	788	855

※契約申込み1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、契約申込みの受付件数の合計値とは一致しない場合がある。